

日本舞踊 キャラバン

「京都公演」

～舞の会～

●地歌「菊」



井上八千代
いのうえ やちよ

●地歌「たぬき」



山村 若
やまむら わか



井上安寿子
いのうえ やすこ

●地歌「由縁の月」



榎茂都梅昭野
うめもと うめあや

●上方唄「十二月」



井上福葉
いのうえ ふくは



井上里美
いのうえ さとみ



井上まめ弥
いのうえ まめや



井上小喜美
いのうえ こきみ



井上小菊
いのうえ こぎく



井上まめ鈴
いのうえ まめず



井上美帆子
いのうえ みほこ

●地歌「荒れ鼠」



山村友五郎
やまむら ともさぶろう
(写真：篠山紀信)



花柳寛七郎
はなやぎ かんしちろう



花柳仁司郎
はなやぎ じんしろう



花柳綱仁
はなやぎ つなひと



藤間皓也
ふじま ごうや



山村 侃
やまむら かん



山村若隼紀
やまむら わかはやく

地歌 菊
井上八千代

地歌 たぬき
宮守 山村 若
たぬき 井上安寿子

地歌 由縁の月
ゆかり つき
榎茂都梅昭野

上方唄 十二月
じゅうにつき
井上福葉、井上里美
井上まめ弥、井上小喜美
井上小菊、井上まめ鈴
井上美帆子、井上槇子
井上市有里、井上小耀
井上小扇、井上紗矢佳

地歌 鉄輪
かなわ
吉村奈尾

地歌 雪
ゆき
吉村古ゆう

地歌 荒れ鼠
あ ねずみ
山村友五郎
花柳寛七郎、花柳仁司郎
花柳綱仁、藤間皓也
山村 侃、山村若隼紀

2023年
12月3日(日)14時開演 [13時15分開場]

祇園甲部歌舞練場 〒605-0074 京都府京都市東山区祇園町南側570-2
TEL.075-561-1117

- 入場料 [税込・全自由席] : 5,000円
- 前売開始 : 10月15日(日) 午前10時～
- お申し込み : 東京コンサーツオンラインチケットサービス
<http://confetti-web.com/nichibukyoto>
カンフェティチケットセンター (電話予約)
0120-240-540 (平日10:00～18:00オペレーター対応)
祇園甲部歌舞練場 (電話予約)
075-561-1117 (10:00～17:00・日曜定休)



オンラインチケット購入 / 日本舞踊キャラバン オフィシャルサイト

- お問合せ : 日本舞踊協会 03-3533-6455 (平日10:00～17:00)
- 制作協力 : 株式会社 東京コンサーツ / 株式会社 谷口事務所

主催: 公益社団法人 日本舞踊協会

日本舞踊 キャラバン ～舞の会～

「京都公演」

日本舞踊キャラバン京都公演へようこそ。本公演は全国11か所で開催。日本の美と粋が詰まった伝統芸能「日本舞踊」。京都公演は“舞”の世界をご堪能いただく企画です。井上流、榎茂都流、山村流、吉村流の上方舞四流が揃って出演、「荒れ鼠」では山村友五郎を鼠の大將に花柳流と藤間流の若手も共演いたします。上方ならではの洗練された舞台にぜひご期待ください。

●演目解説 阿部さとみ [舞踊評論家]

※公演では、各演目の解説や見どころを司会・桂吉坊がご案内いたします。



提供 国立劇場

地歌「菊」(きく)

秋に美しく咲く菊は古くからめでたい花として愛され、様々な邦楽の曲にも取り入れられてきました。本作は菊の花に長寿や家の繁栄を重ね、風格と雅な風情が織り交ぜられたご祝儀ものとなっています。京舞井上流のみに伝わる作品です。



地歌「雪」(ゆき)

浮世を捨てて尼となった女性が、なお断ち切れぬ恋の思いにふけるという内容です。雪が音もなく降る夜。出家して俗世界から離れ、落ち着いた境地になったはずだったのに、ふと脳裏をよぎるのは昔の恋…と、もだしがたく切ない女心が紡がれていきます。



地歌「たぬき」

[二代目山村若 振付]

たぬきと神社の番人である宮守のお話です。夜ごと神社を荒らすたぬきを、宮守が鉄砲で撃ち殺そうとすると、たぬきは夫と仲睦まじく暮らし、お腹には子供がいると命乞いをします。助けてもらったたぬきはそのお礼に腹鼓を打って聞かせ、めでたく舞い納めます。



地歌「荒れ鼠」(あれねずみ)

[二世榎茂都属性 振付]

鼠の世界を描いた作品です。人が寝静まった夜更けに、鼠たちが動き出します。鼠の大將が子分たちに命令し、茶の間、料理場、台所、納戸、行灯部屋、化粧の間と家中を荒らしまわっていると、大きな猫が現れたとの知らせが入り、逃げていきます。



地歌「由縁の月」(ゆかりのつき)

思わぬ人に身請けされた遊女が、恋しい男と逢えなくなった身の上を哀しむという内容です。憂鬱だった遊女勤めの日々さえ、今では懐かしいと嘆き、水に映る月影に恋しい人を思い、その面影だけが沈む心のうちをほのかに明るくしてくれと綴られます。



提供 国立劇場

上方唄「十二月」(じゅうにつき)

一月から十二月までの廓の様々な年中行事を、手鞠歌の形式で読み込み、明るく展開します。お年賀、七草、初午、桃の節句、権現祭、端午の節句、祇園祭、七夕、十五夜、重陽の節句、猪の子餅、大師講、餅つき、節分…と軽快に展開します。



地歌「鉄輪」(かなわ)

夫を他の女に奪われた女が、その恨みから貴船神社に丑の刻参りをして鬼となり、後妻打ちをするというもの。後妻の髪を手にかからめて打ち杖で打ち、続いて男の枕元に立つと神々が出現して女を追い立てます。女の嫉妬の凄まじさとともに哀れさも内包されている作品です。

【主な演奏者】

地歌 菊原光治社中
菊央雄司
松浪千壽社中
祇園甲部連中
囃子 藤舎呂英連中



【司会】
桂 吉坊
かつら きちぼう



主催：公益社団法人日本舞踊協会とは

日本舞踊協会は日本の伝統芸能である「日本舞踊」を通じて豊かな社会づくりに取り組む団体です。1955年に設立され、約110流派約3,600名の日本舞踊家が所属し、全国26の支部があります。普及や人材育成を図るための主催公演の開催や、創作日本舞踊の発表、映像配信、こども向けのワークショップや文化庁主催の学校巡回公演、外国人向け体験プログラムを実施するなど、流派を超えて、各事業に取り組んでいます。

●今回の日本舞踊キャラバン公演は、2023年8月から2024年1月までの期間、山形・鹿児島・徳島・富山・高知・北海道・京都・宮城・沖縄・山梨・大阪の全11か所にて順次開催！

各地で日本舞踊協会ならではの珠玉の舞台をお届けいたします。本公演の詳細や最新情報は、公式HPをご覧ください。

【公演担当理事】

吾妻徳穂 / 井上八千代 / 尾上菊之丞
西川箕乃助 / 山村友五郎 / 若柳壽延

【公演担当委員】

花柳絵美舞也 / 花柳知香之祥 / 藤蔭里燕
藤間巡子 / 若柳延祐 / 若柳杏子